

環境活動報告書 2011年版 (2010年4月度～2011年3月度)

東日本大震災の大被害を受け、2011年5月に環境方針を改定しました。

環境理念

2011年3月11日に発生した東日本大震災と福島第一原子力発電所の重大事故は、私たちの生活全般にわたって深刻な影響をもたらしています。

特にエネルギーや資源問題では、いわて生協の事業にも大きな制約が生まれました。電気や石油燃料が十分に供給されることを前提にした従来の考え方は、根本的に変えていくことが求められています。可能な限り電気を使わない、石油に頼りきらない事業活動や生活スタイルへの転換が必要です。

いわて生活協同組合は東日本大震災による重大な影響を真剣に受け止め、従来から掲げてきた「持続可能な社会の実現」をめざす取り組みをいっそう推進するとともに、人類共通の課題である地球温暖化防止の活動をさらに推進します。

環境方針

1. 東日本大震災により、くらしの価値観も大きく変わりました。従来の活動の枠や発想にとらわれることなく、積極的に知恵を込めて以下の課題に取り組めます。

①地球温暖化防止対策のために、大幅な電気使用削減の取り組みをすすめます。また太陽光発電の導入をさらにすすめるとともに、施設・設備の省エネ型への更新、改修、変更を推進します。

②ガソリン・軽油の効率的使用を推進し、軽油の代替燃料であるBDFの使用拡大をすすめます。また、よりエネルギー効率のよい車両の導入を進めます。

③資源を大切にする活動をすすめ、組合員によるリサイクル活動、事業での資源節約とリサイクル活動をさらに強めます。またレジ袋の有料化へ向けて取り組みます。

④地産地消の活動を推進し県内農林水産業の復興を願

い、励まし、支援する行動をすすめます。

⑤岩手の森林を保全・育成する取り組みを推進します。

2. いわて生協は環境に関する法令を守り、事業によって環境を汚染しないように予防に努めます。また、いわて生協全体の環境負荷を減らすために、継続的な改善を積み重ねていきます。

3. 以上を確実に実施するため、環境教育を実施します。

4. この環境方針は誰でも入手できるようにし、環境活動の取り組みの結果を定期的に公表します。

制定日 2011年5月23日

いわて生活協同組合

理事長 飯塚明彦

CO₂排出量は3年ぶりに増加しました (前年比104%)

2010年度のいわて生協全体の二酸化炭素(CO₂)排出量は1万4,085トン(前年比104.1%)と3年ぶりに増加しました。

要因として、ペルフ西町の建て替えオープン、釜石支部の移転新設、共同購入でのドライアイス削減のための蓄冷材冷凍庫装備を計画に盛り込んでいました。

一方、減少要因と見込んだものは、店舗での照明器具の省エネ型への転換、冷ケース棚間照明削減、BDF使用の増加、共同購入の軽油使用量削減、本部のガソリン使用量削減、釜石支部への太陽光発電導入等でした。

結果は、2010年6月から9月まで記録的な猛暑(盛岡市の6月から8月の平均気温23.7℃: 前年差+2.7℃)が続き電気使用量が大幅に増えたため、3年連続のCO₂削減はできませんでした。

地球温暖化防止自主行動計画は未達成

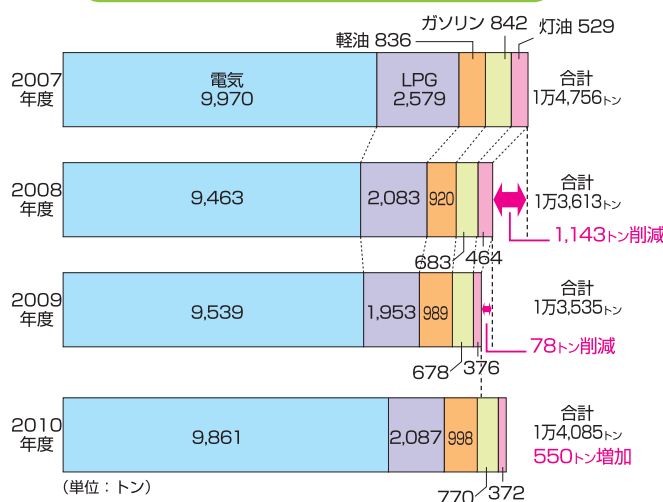
左記のように電気使用量が大幅に増え、また、灯油、共同購入支部の軽油以外のエネルギー使用が前年を上回りました。その結果、CO₂総排出量、供給高1億円当たり(原単位)でも計画を上回ってしまいました。

2011年度地球温暖化防止 自主行動計画へ向けて

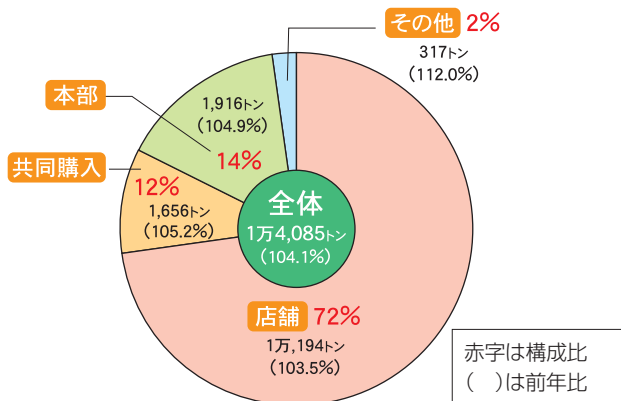
日本生協連は東日本大震災の影響で、2011年度の自主行動計画の集約を遅らせています。

いわて生協は、新しい環境方針に基づき電気使用量の20%削減の目標設定など、抜本的にエネルギー使用を減らす取り組みをすすめます。

発生原因別CO₂排出量(単位: トン)



事業別CO₂排出量(単位: トン)



■2010年自主行動計画数値と結果(比率は2002年度比。)

		02年度[基準年]	10年度計画	10年度実績
供給高(百万円)	店舗	25,972	21,436	21,031
		100.0%	82.5%	81.0%
	共同購入	11,122	13,490	13,563
		100.0%	121.3%	121.9%
CO ₂ 排出量(トン)	合計供給高	37,094	34,926	35,287
		100.0%	94.2%	95.1%
	店舗	10,629	9,819	10,194
		100.0%	92.4%	95.9%
CO ₂ 排出量(トン/億円)	共同購入	979	1,543	1,656
		100.0%	157.6%	169.2%
	合計	13,301	13,483	14,085
		100.0%	101.4%	105.9%
CO ₂ 排出量(トン/億円) (商品供給金額当たり)	店舗	40.9	45.8	48.5
		100.0%	112.0%	118.5%
	共同購入	8.8	11.4	12.2
		100.0%	129.5%	138.7%
原単位	合計	35.9	38.6	39.9
		100.0%	107.5%	111.2%

地球温暖化防止へ向けて二酸化酸素（CO₂）排出を削減する取り組みを強めました。

セリオホールみやこは全館LED照明に

店 舗

- ①スポット照明は、ハロゲンからセラメタランプへの交換をすすめました（ベルフ山岸、ベルフ仙北、コープ一関コルザ、マリンコープドラの一部）。
- ②冷ケース内照明の削減をすすめました。
- ③古い空調機は、新型・高効率設備への転換を始めました（コープ一関コルザ、マリンコープドラの一部系統）。
- ④前年比較可能な既存店全体で節電のための運用改善を行い、猛暑の中でも年間電気使用量を削減できました（前年比99.9%）。

共同購入

- ⑤新設の釜石支部に太陽光発電設備を設置しました（20kWタイプ）。
- ⑥BDF（バイオディーゼル燃料）を使用するトラックを増やし、軽油からの燃料転換をすすめました。
- ⑦エコドライブをさらにすすめ、燃費改善で軽油使用量を削減しました。

セリオ・本部

- ⑧本部事業所ではガソリン節約をすすめました。また業務車両にハイブリッド車の導入を始めました。
- ⑨新設のセリオホールみやこは全館LED照明を採用し、太陽光発電、ハイブリッド給湯・暖房設備、調光器装備など、最先端のエコ施設になっています。



3基目の太陽光発電を装備したセリオホールみやこ。



全館がLED照明に。

BDF（バイオディーゼル燃料）の使用が本格化。CO₂を約39トン削減

廃食油から精製したBDFを使用するトラックを増やし、BDF使用量は1万4,887ℓ（前年2,820ℓ）に増加。これによるCO₂

排出削減量は39.3トンでした。盛岡以外の支部でもBDFを使用し、全10支部で計24台が走行しています（2011年3月現在）。本部施設で精製したBDFは8,867ℓで、不足分は県内各地の福祉作業所等から購入するなど新しい協力関係も生まれました。



炊き出しなど被災地支援に向かうBDFトラック

組合員家庭から廃食油を回収し、BDF化する活動をスタート

要望の強かった組合員家庭からの廃食油回収が2011年4月からスタートしました。店舗、共同購入で回収した廃食油は本部精製施設でBDFに精製し、共同購入トラックで使用しています。



店舗・共同購入で回収スタート。

「コープの森づくり」第2回植樹を実施

2010年5月に葛巻町で植樹した「コープの森」では、10月に下草刈りが行われ、育樹の取り組みも開始。また、2010年度はみちのくコカ・コーラ株式会社と花王株式会社との間で共同の環境配慮商品普及が取り組みられ、販売額の一部が「コープの森づくり基金」に贈呈されました。

2011年5月にも同町「コープの森」で、組合員や地元森林組合のみなさん約80人で第2回植樹を実施し、植林面積を広げました。



第2回コープの森植樹祭(2011年5月28日)。

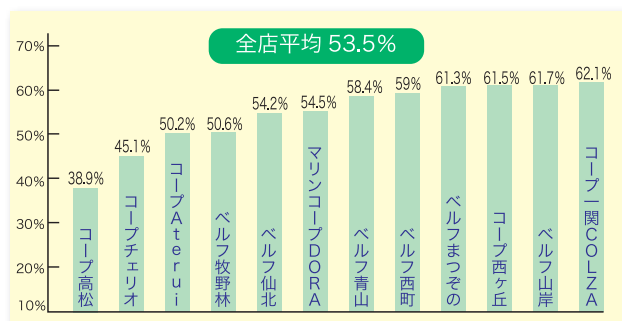


いわて生協とみちのくコカ・コーラとの「コープの森づくり」協賛企画。

レジ袋節約率は55.3%へ前進し、節約枚数は595万枚に

レジ袋節約（マイバッグ持参）運動は節約率が55.3%（2011年2月実績）となり、引き続き前進（前年3月は54.9%）。節約できたレジ袋は595万枚と推計され、節約したことによるCO₂削減量は228トンと試算されます。

また、レジ袋有料化の必要性について行政や他の事業者と意見交換をすすめてきました。



店別レジ袋節約率（2011年2月度実績）※大震災の影響で3月11日以降のレジ袋節約データが失われましたので推計値は2月度までの実績です。

生ごみリサイクル量は106トンの実績

2009年7月から始まった盛岡・滝沢地区店舗の生ごみリサイクルは、2010年度は年間実績106トンでした。小岩井農場（バイオパワーしずくいし：BPS）で発酵ガス発電や液肥の原料として活用されています。BPSのデータによると発電貢献量は1万2,256kWh、CO₂排出削減効果は5.7トンと推計されます。

食品リサイクル率は58.3%

法律で40%以上のリサイクル率が求められている食品リサイクル率は58.3%となり、前年度の62%から後退しました。これは、コブアテルイが所在する奥州市の委託先が生ごみたい肥事業から撤退したためです。

2010年度
食品リサイクル率 **58.3%**

$$\text{食品リサイクル率 (\%)} = \frac{\text{リサイクルできている量 (320トン)}}{\text{リサイクル量 (320トン)} + \text{食品系廃棄物 (229トン)}} \times 100$$

発泡スチロール減容リサイクルは44トンに増加

発泡スチロールの本部施設での減容処理・リサイクルは、コブ関コルザを除く全店舗、セットセンターに広がり、減容後のインゴット（生成物の固まり）は44トン（前年比103%）に。産業廃棄物の大幅削減、マニフェスト管理業務の大幅な軽減につながりました。



発泡スチロール減容後のインゴット。

「エコショップ制度特別表彰」受賞

全12店舗が岩手県エコショップに認定されていますが、2010年10月に特別表彰を受賞。この間の店舗の幅広い環境活動が評価されました。



また、環境省主催のエコショップ特別表彰を受賞。「エコ8カップ」全国大会では、優秀賞に選ばれました。

「エコエコ探検隊」の開催は11回に増加

「エコエコ探検隊」は夏休み、冬休みに7店舗で11回開催し、130人の親子が店舗の排出物削減、組合員のリサイクル活動、環境にやさしい商品を学びました。店舗を舞台にした環境学習は、年を追って開催が増えています。

「1日エコライフ1万人プロジェクト」みんなの行動でCO₂を6.4トン削減

2010年6月の環境月間にCO₂削減のための「1日エコライフ」に取り組みました。家庭での省エネをシートで集約する取り組みに1万1,895人が参加、CO₂6.4トンを削減できました。



「わが家で実施していること」にシールをはつての参加も。

農産チーム**顔と暮らしが見える産直品の普及**

天候不順の中でも6億1,294万円の供給高に

環境負荷が少ない栽培方法や県内産で輸送距離が短い「顔と暮らしが見える産直品」は、産直収穫祭や店舗ごとの産直コーナーの取り組み、日常のおすすめ活動強化で普及をすすめました。天候不順で生育が順調でない野菜もありましたが6億円を超える利用（前年比97.8%）を確保しました。



産地交流での枝豆の収穫体験。

水産チーム**三陸産アイコープ商品の普及**

開発商品も多く1億2,619万円の供給高に

輸送距離が短く環境負荷が少ない三陸産商品を三陸の漁協や水産加工会社と共同開発し、日常的な普及に取り組みました。20周年記念の商品開発効果もあり、前年を大きく上回る1億2,619万円の供給高（前年比183%）になりました。



わかめの芯ぬき作業体験をする組合員。



本部常勤者によるアイコープ真崎わかめの産地学習会。

惣菜チーム**県内産食材を利用した商品の普及**

「岩手県内産」にこだわった惣菜への支持広がる

いわて生協らしさを表す県内産食材を使った惣菜の開発を一年を通してすすめ、売り場では利用呼びかけを強めました。2009年度を上回る1億5,610万円の供給高（前年比128%）となり、2年連続で1億円を超えました。

畜産チーム**県内産畜産物の普及**

「しわ黒豚産直30周年」を祝いました

「飼料米を与えた産直アイコープ豚」普及の取り組みや産直若鶏、「しわ黒豚産直30周年」記念開発商品の普及を積極的にすすめました。供給高は6億4,894万円（前年比98.1%）でした。



2010年度は「黒豚ホルモン」も開発。



多数の関係者で祝賀会を開催（2010年12月17日）

グロサリーチーム**県内で製造した開発商品の普及**

産直米658トン全量を供給

生産から消費までの環境負荷が少ない「県内メーカーと共同開発した商品」と「県内メーカー製造品」の普及をすすめました。年間供給実績は1億2,083万円（前年比109%）となりました。

産直米は、2009米穀年度（2009年10月～2010年9月）で予定した658トンをすべて供給しました。



産直米交流会で田植え体験をする子どもたち。

共同購入支部

エコ運転で燃費をさらに引き上げ、 軽油使用量を削減

共同購入支部では、デジタルタコメーター「みまもりくん」を活用したエコ運転の学習や実施指導を行い、全車平均燃費 1ℓ 当たり6.57km（09年度6.39km、08年度5.96km）を実現しました。この結果、支部全体の軽油使用量は23万4,072ℓ（前年比90.3%）となり、BDFへの転換分1万4,887ℓを含めて25,164ℓを削減しました。

共同購入商品案内チラシ回収率96%に

共同購入で回収する商品案内チラシは「アイコー わたしたちのリサイクルトイレットロール」の原料になっています。2010年度の回収量は2,399トン（リサイクル業者への払い渡し実績。セットセンターからの「残チラシ」14.8万トン含む）となり、2009年より2%増加。年間の商品案内発行量は2,495トン（前年比95%）で、発行量対比の回収率は96%に高まりました。

※商品案内発行量には「くらしと生協」カタログを含みません。

各 部 署

自主目標を積極的に推進

●経理チーム●

コピー紙使用量の削減をすすめ、2009年度の4万4,825枚（A4換算）から2010年度3万3,875枚へ

削減しました。また帳票類のリサイクル量を増やす取り組みもすすめ、1.8トンのリサイクルしました。

●共済センター●

共済案内チラシの効率的活用のために、チラシごとの加入成約率調査を続けています。2010年度はチラシの配布方法の違いも検討に加え、チラシ効率を高める努力を行いました。

●保険センター●

自動車保険でリサイクル部材使用特約を付帯する契約者の割合を高める目標は、2010年度は56%まで高めることができました。また、紙の使用を抑えるために自動車保険の長期契約をすすめ、2010年度は長期契約率が48%まで高まりました。

●セリオホール●

環境に配慮した「エコ棺（ひつぎ）」（合板や化学接着剤不使用、料金の一部が森林再生に活用される）のすすめに取り組み、2010年度は120件の葬儀で使用されました（全体の21%）。



●住まいと暮らしのサービスセンター●

冷房・暖房効率を上げる「断熱ガラス」の普及に取り組み、188件の施行（前年131件）がありました。

●セットセンター●介護・福祉センター●

「環境学習」を毎月定例化し、時々テーマを学んできました。

●開発施設部●

施設での環境対応をすすめる課題、環境法規制の調査と順守、官庁への報告、産業廃棄物（マニフェスト）の適切処理等をすすめました。

環境マネジメントシステム(EMS)を10年ぶりに改定・ISO14001認証が終了

環境負荷を継続的に減らしていくための環境マネジメントシステム（EMS）を10年ぶりに改定しました。EMSマニュアルを簡素化して改定し、より戦略的なテーマに取り組めるようにしました。またシステム維持のための各事業所の実務負担を軽減し、重要な課題で集中的な取り組みをすすめる方向にしました。

ISO14001に基づく第三者（外部）認証は3回の更新審査で認証継続を得てきましたが、今回のマニュアル改定で2010年12月20日で終了しました。

●内部環境監査 新マニュアルによる内部環境監査は、2011年1月17日から2月9日まで24人の監査員で実施しました。指摘事項27件（重大なもの1件、軽微なもの8件、改善の余地18件）の「監査所見」を提出し是正を求めました（その後、4月20日までに全ての指摘事項への対処が終了しました）。

●環境情報 環境に関する苦情は4件ありました。いずれも騒音に関するものでした（除雪、納品・配達時等）。申し出いただいた方が特定できる場合は直接お詫びし、関係者に伝達し改善しました。

●緊急事態想定 事故緊急事態は1件でした。2010年12月24日午前、花巻市内で灯油配達車両がスリップし横転する事故がありました。消防、警察、自治体に直ちに通報し、適切に対処し事故処理を終えました。

エネルギー・資材の使用

■エネルギーの使用

電気	26,089kWh
LPG	313,587m³
灯油	149,234ℓ
ガソリン	330,289ℓ
軽油	380,395ℓ
車両LPG	104,796ℓ
ドライアイス	562,511kg
水	137,321m³

■資材の使用

紙

コピー紙(A4版換算)	1,003万枚
コピー紙以外の紙	2,866トン

(共同購入・店舗チラシ・広報物など)

容器・包装材

レジ袋	42,277kg
ポリ袋	8,266kg
トレイ(透明トレイ含む)	131,335kg
ラップ	17,436kg
共同購入シッパ内袋	19,013kg

車両の使用台数(254台)

ディーゼル・BDF車	158台
ガソリン車	86台
LPG車	10台

(2011年3月現在：委託車両は含みません)

環境への排出

■大気への排出

NO _x 排出量試算	141,966kg
CO ₂ 排出量	14,085トン(前年度13,535トン)

■廃棄物

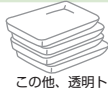
一般廃棄物	763,938kg
廃家電の排出(家電リサイクル法)	123台

■事業活動の中で分別・再資源化しているもの

項目	2010年度	前年比
紙	100,340kg	105%
びん・缶	38,362kg	113%
発泡スチロール	70,602kg	93%
発泡スチロール(減容インゴット化)	44,812kg	104%
ダンボール	1,649,661kg	153%
廃食油	24,333kg	95%
魚アラ	130,463kg	95%
肉脂	40,815kg	106%
生ごみ	156,398kg	96%
共同購入シッパ内袋	7,886kg	104%
商品納品時フィルム	3,872kg	65%
合計	2,267,544kg (2,268トン)	133%

組合員のリサイクル活動(店・共同購入)

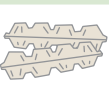
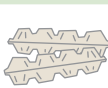
上段：回収量(前年比) 下段：枚数換算値

トレイ
(発泡)38.4トン
(122%)
678万枚
回収

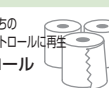
トレイ

228万枚
に再生
この他、透明トレイ、
ふたが14.1トン回収されています。ペット
ボトル75.4トン
(108%)
125万本
回収

卵パック

440万枚
に再生卵
パック22.6トン
(99%)
133万枚
回収

卵パック

133万枚
に再生牛乳
パック54.3トン
(104%)
163万枚
回収トイレット
ペーパー換算約14万ロール
に再生共同購入
チラシ2,399トン
(102%) 回収アイコーわたしたちの
リサイクルトイレットロールに再生
約303万ロール
に相当アルミ缶
スチール缶17.7トン
回収アルミ・鉄製品
に再生

廃食油

BDF(バイオ
ディーゼル燃料)
を作ります。

※業者に売り渡して再資源化した数量です。

いわて生協のリサイクルの流れ

牛乳パックの回収

店舗・共同購入 → 業者に引渡 → ティッシュペーパー
トイレットペーパー

共同購入チラシの回収

生協本部保管 → 業者に引渡 → 一関市・上山製紙 → アイコーわたしたちの
リサイクルトイレットロール

ペットボトル、卵パックの回収(ペットボトルは店舗のみ)

店舗・共同購入(ペットボトル・卵パック) → 大船渡市・洗浄・ベレット化 → 和歌山県・ポリテックシート再生シート → 生協で供給する
卵パックに利用

ペットボトルは共同購入では回収していません。

食品トレイ・透明トレイ・ふたの回収

店舗・共同購入 → 宮城県・エフビコ工場 → 再生トレイ

発泡スチロールの回収

店舗SC、FC → 本部・減容処理(インゴット化) → 大船渡市・志田産業ベレット化 → 再生原料として
出荷(国内)

1990年 いわて生協発足

- 牛乳パック回収開始
- 買い物袋節約スタンプ制開始
- 印刷用紙、コピー用紙、名刺等の再生紙への切り替え開始

1991年

- 使用済OCR用紙回収開始
- 食品トレイ回収開始

1992年

- アルミ缶回収（青山店）開始
- 朝配達牛乳のびん化テスト実施

1993年

- 朝配達牛乳でリサイクルびん（720ml）全面使用
- レシート用紙に再生紙使用
- 包装ラップの非塩ビラップへ切り替え実験

1994年

- 包装ラップを非塩ビフィルムに切り替え
- 店舗の飲料自販機の台数削減
- ギフト簡易包装紙開発

1995年

- ペットボトル回収開始
- 共同購入にLPGトラック（低NO_x）導入

1996年

- 盛岡3支部で共同購入で商品案内チラシ回収（全支部での回収は翌年）
- 未使用OCR用紙回収

1997年

- 回収トレイをトレイにリサイクルし、店舗で使用
- 盛岡市「ごみ減量・リサイクル店」認定

1998年

- 回収したペットボトル、卵パックを卵パックに
- 回収した共同購入チラシを原料にトイレットペーパー開発

1999年

- アイコープ低温殺菌牛乳（200ml）の容器をリサイクルびんに
- 本部でペットボトル、卵パックの圧縮減容作業開始

2000年

- 県内小売業で初のISO 14001認証取得

2001年

- 「いわて大環境祭」（アピオ）に参加
- 印刷物に大豆インクを採用

2002年

- レジ袋節約スタンプからカードポイントサービスに変更
- 共同購入の内袋を内部使用ごみ袋に再生

2003年

- レジ袋節約率が30%を達成
- コープアテルイの生ごみを堆肥化

2004年

- 印刷物・帳票類の再生紙への切り替え終了
- 「ポラン農業小学校」の活動が雑誌「地上」等で全国に紹介

2005年

- 岩手県「エコショップ」制度第1号認定を受ける
- 「森林（もり）を守る募金」開始（以後4年で県内環境団体に150万円贈呈）

2006年

- セリオホールみたけに太陽光発電導入
- 共同購入トラック5台でBDF（バイオディーゼル燃料）使用

2007年

- 廃プラスチックのリサイクル拡大（PPバンドなど）
- レジ袋節約率45%に到達。50%を目標に決める。

2008年

- 本部で発泡スチロール減容・リサイクル開始
- 共同購入トラックで燃費改善を実現
- レジ袋節約率51%となり過半数の節約率を実現

2009年

- 本部構内にBDF精製施設を設置
- 透明トレイ、ふたのリサイクル開始
- 盛岡店舗生ゴミ・食品残さのリサイクル開始（小岩井・バイオパワーしずくいしへ）

いわて生協のプロフィール（2011年3月20日現在）

本部／岩手県岩手郡滝沢村滝沢字土沢220-3

電話 019-687-1321（代表）

FAX 019-687-1491

<http://www.iwate.coop/>

創立／1990年3月21日

出資金／68億7,006万円

供給高／352億8,722万円（2010年度実績）

組合員数／199,279人（県内世帯数比38%）

班数／11,265班（個配含ます）

班員数／37,060人

常勤者人数／1,942人（アルバイト含む）

2010年度の事業の決算概況

2010年度損益計算書

（2010年3月21日～2011年3月20日）（単位：百万円）

科目	実績
供給高	35,287
供給剰余金	8,500
その他の事業収入	1,092
事業総剰余金	9,592
管理費	9,425
人件費	4,437
物件費	4,988
事業剰余金	167
事業外収益	64
事業外費用	35
経常剰余金	195
特別利益	80
特別損失	191
税引前剰余金	85
当期剰余金	△200

事業部門別供給実績

（2010年3月21日～2011年3月20日）（単位：百万円）

事業部門	実績
店舗事業	21,030
共同購入事業（灯油含む）	13,563
葬祭事業	691
その他	3
総供給高	35,287

2010年度貸借対照表

（2011年3月20日現在）（単位：百万円）

資産の部		負債・資本の部	
流動資産	5,320	流動負債	6,524
固定資産	12,225	固定負債	2,061
有形固定資産	8,927	出資金	6,870
無形固定資産	295	剰余金	2,090
その他固定資産	3,003		
資産合計	17,545	負債・資本合計	17,545

職員数及びその増減その他の職員の状況

区分	前期末数（人）	当期末数（人）	平均年齢、平均勤続数
正職員	328	324	41.1歳
			18.0年
パート・アルバイト等職員	1,555	1,618	
総数	983	1,009	
正規換算数			

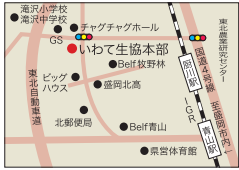
（注）パート・アルバイト等職員の正規換算は、1日8時間を基準としています。



事業所一覧

本部 滝沢村滝沢字土沢220-3

本部／総務チーム・役員室・開発施設部 TEL019-687-1321
FAX019-687-1491
組織本部 TEL019-603-8299
経理チーム TEL019-687-1341



●上欄に記載の部署のほか、共同購入センターや生鮮加工センターもこちらです。

事業本部／
商品部
店舗事業部 TEL019-687-1441
品質管理室

共済センター TEL019-687-1306

コープ保険センター ☎ 0120-239739

その他

コープくらしの助け合いの会 滝沢村滝沢字土沢220-3
盛岡地区 TEL019-699-1777
盛岡以外 ☎ 0120-537940

コープトラベルいわて 盛岡市仙北3丁目8-40
(Belf仙北2階) TEL019-631-2671

共同購入

盛岡 滝沢村滝沢字土沢220-3
東・西・南支部 ☎ 0120-042306

宮古支部 宮古市田鎖第8地割字十文字12-1
☎ 0120-693312

花北支部 花巻市石鳥谷町小森林第5地割220-1
☎ 0120-405531

県南支部 奥州市前沢区字五合田63-8
☎ 0120-803620

釜石支部 釜石市平田第3地割75-1
☎ 0120-272201

けせん支部 大船渡市盛町字馬場23-5
☎ 0120-263957

にのへ支部 一戸町一戸字越田橋25-1
☎ 0120-255582

久慈支部 久慈市新井田3-98-1
☎ 0120-341588

盛岡灯油センター ☎ 0120-112021
住まいと暮らしのサービスセンター ☎ 0120-879300

Belf 牧野林
滝沢 あさ9時～よる10時
P 550台
滝沢村滝沢字牧野林291-1
TEL.019-699-3566
FAX.019-687-3412

Belf まつその
盛岡 あさ9時～よる10時
P 110台
盛岡市松園3丁目18-20
TEL.019-654-2184
FAX.019-662-8018

コープ高松
盛岡 あさ7時～よる11時
P 30台
盛岡市上田4丁目21-5
TEL.019-624-2218
FAX.019-624-2226

Belf 青山
盛岡 あさ9時～よる10時
P 180台 灯油取扱
盛岡市青山4丁目17-2
TEL.019-647-8181
FAX.019-647-8184

Belf 山岸
盛岡 あさ9時～よる10時
P 150台 灯油取扱
盛岡市山岸2丁目16-8
TEL.019-654-2184
FAX.019-654-4092

Belf 仙北
盛岡 あさ9時～よる10時
P 180台 灯油取扱
盛岡市仙北3丁目8-40
TEL.019-635-0135
FAX.019-635-0158

コープAterui
水沢 あさ10時～よる10時
(日曜・祝祭日はあさ9時開店)
P 1400台
奥州市水沢区佐倉河字東沖ノ目123
TEL.0197-51-0088
FAX.0197-51-0070

Belf 西町
宮古 あさ10時～よる9時
P 80台
宮古市田の神2丁目2-30
TEL.0193-62-0203
FAX.0193-62-0338

マリコプDORA
宮古 あさ10時～よる8時
(日曜・祝祭日はあさ9時開店)
P 600台
宮古市小山田2丁目2-1
TEL.0193-63-3131
FAX.0193-63-3366

コープチェリオ
宮古 あさ8時～よる7時30分
P 140台
宮古市崎敷ヶ崎1-11-26
TEL.0193-64-4121
FAX.0193-64-6022

コープ西ヶ丘
宮古 あさ10時～よる9時
P 40台
宮古市西ヶ丘1丁目6-1
TEL.0193-64-1158
FAX.0193-64-1199

コープ関COLZA
一関 あさ9時～よる10時
P 380台
一関市石畑3-1
TEL.0191-26-3331
FAX.0191-26-3380

盛岡市保護施設 盛岡市保存建物 南昌荘
盛岡 10時～17時・月火休
(12月～3月は16時開店)
P 10台
盛岡市清水町13-46
TEL & FAX 019-604-6633

コープ介護・福祉センター“あい”
盛岡 あさ9時～よる18時
P 145台
盛岡市北天寺町1-60
☎ 0120-179131
☎ 0120-643-9131
FAX.019-643-9138

セリオホール中野
盛岡 年中無休
P 60台
盛岡市中野2丁目3-25
☎ 0120-059212
FAX.019-654-1900

セリオホールみたけ
盛岡 年中無休
P 30台
盛岡市みたけ3丁目7-35
☎ 0120-529711
FAX.019-647-8990

セリオホール緑が丘
盛岡 年中無休
P 36台
盛岡市緑が丘3丁目10-35
☎ 0120-809241
FAX.019-664-9242

セリオホールみやこ
宮古 年中無休
P 60台
宮古市小山田3丁目3-5
☎ 0120-634477
FAX.0193-63-8441